

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像
多様性を認め合い自立的・主体的に行動できる子

堺市立登美丘西小学校
校長 山本 清和

R6年度 重点目標
美しい学校にしよう ～4つの「き」ができる子を育む～
○聴く 人の話を最後まで聴く子 ○本気 何事も本気で行う子 ○優気 友だちや仲間に対して優しい気持ちで接する子 ○雰囲気 誰から見ても雰囲気をつくる(感じる)子

確かな学びの現状
「全国学力調査」や「すくすくウォッチ」の結果から、基礎学力はある程度定着しているが、思考力を働かせたり、複数の資料を関連付けて考えたりする問題に課題がある。
豊かな心・健やかな体の現状
「学校教育アンケートにおいて「自分のよいところについて考えようとしている」の項目での肯定評価が76%と、8割を下回っており、自己肯定感の低い傾向がみられる。

Table with 10 columns: 大項目, 中項目, 具体目標, 具体的な取組, 判断基準, 評価方法, 評価時期, 進捗確認, 達成状況(年度末), 自己評価, 学校関係者評価. It details various educational goals and their implementation across different subject areas like '確かな学び', '豊かな心・健やかな体', and '地域協働'.

校長より(年度末)
今年度より、学校教育目標を変えた。子どもも職員も覚えやすいものにしたかったからだ。これは見事に成功した。全職員が同じベクトルで子どもに接するので、子どもも迷いがなく、4つの「き」をがんばることができた。課題は、学校へ行くのが楽しいと思っている児童が目標よりも下回ったことは、真摯に受け止め、もっと魅力ある学校にしていかなければならないと考えさせられた。来年度は「笑顔で登下校」を意識した経営方針を立てるつもりである。最後に、ここでいう「美しい学校とは？」4つの「き」をいつも意識し、美しくなった児童が集う場所＝美しい学校という。決してそうだけに力を入れてピカピカの学校という意味ではない。

学校関係者評価者から(年度末)
今年度も取り組みの成果がある程度出ていることが素晴らしいと感じます。今後の課題を見つけていくには、自己評価をする際に、「項目ごと一つは△をつける」などの条件をつけ、あえて低い評価をつけるようにすると、皆が感じている課題があぶり出されてくるのではないかと思います。時代の変化とともに学校も柔軟な対応を求められると思いますが、教職員が一丸となってより登美丘西小学校をつくっていただくことを期待しています。